

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で24年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 4月度分科会報告

4月6日(水)中原市民館会議室にて午後6時30分より開催、参加者14名を得て、「最近の地域経済動向について」と題し、昨年4月に続き、川崎信用金庫 常勤理事・情報調査部長 大西淳夫氏を講師に迎え開催された。

今回の講演は、「川崎市内中小企業への調査による平成22年4月期より平成23年3月期の実績と4～6月期の見通しについて」というホットなテーマであった。

概況は通年として、堅調に推移していたものの4月期以降は東日本大震災という未曾有の災害による影響により今

後の見通しが見つからないという先行き慎重な見方が支配的になっている。復興需要は間違いなく発生するが、その時期がいつかという事も懸念材料としてあげられるが、川崎市は全国の政令指定都市の中で人口の伸び率や平均年齢等のデータで屈指の元気な街であり、その活力を期待したいとのことであった。

その後、場所を変えて和やかな雰囲気のまま、懇親会を開催した。

## 4月度定例会報告

4月14日(木)ソリッドスクエア会議室にて午後6時30分より開催、参加者17名から「3分間スピーチ」と題して近況報告が行われた。はじめに新入会希望者の自己紹介があり、和やかな雰囲気の中、参加者全員から発言があった。今回は、新入会希望者の参加もあったため、当会の素晴らしさを熱く語られる方が多かった。また、先の東日本大震災や原発事故の影響により、受注減少や資材・部品の調達ができない品薄状態等、厳しい環境が続いているとの発言が多くあった。このような状況下、経営者としていかにリスクを回避し、不景気に強い会社になることが重要であり、何よりも社長が元気でいることが最も大事

であることを再認識する場となった。その後、懇親会場に会場を移し、盛会の内に終了した。



加入のお問い合わせは

事務局:多摩麻生支所 TEL 044-932-1100